

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公表番号】特表2011-503218(P2011-503218A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-534399(P2010-534399)

【国際特許分類】

C 07C 231/02 (2006.01)

C 07C 233/47 (2006.01)

C 07C 233/49 (2006.01)

A 61K 8/44 (2006.01)

A 61Q 19/00 (2006.01)

A 61Q 19/10 (2006.01)

C 07F 1/04 (2006.01)

【F I】

C 07C 231/02

C 07C 233/47

C 07C 233/49

A 61K 8/44

A 61Q 19/00

A 61Q 19/10

C 07F 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月11日(2011.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

成分a)として、C₈~C₁₈アシル基を有するココイルグリシン酸ナトリウムを、組成物全量をベースとして、21.0~28.0重量%、好ましくは23.0~27.0重量%の量で含み、C₈及びC₁₀アシル基を含有する式(I)のアシルグリシネートの割合は合計して5.0重量%より多く、好ましくは10.0~14.0重量%であり、C₁₂アシル基を含有する式(I)のアシルグリシネートの割合は50.0~72.0重量%であり、C₁₈アシル基を含有する式(I)のアシルグリシネートの割合は2.0重量%未満、好ましくは1.8重量%未満、特に好ましくは1.0重量%未満であることを特徴とする請求項7~9の何れか一項に記載の組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

本発明のさらに好ましい実施形態において、本発明による組成物は、成分a)として、R¹が12個の炭素原子を有するアシル基R¹でありそしてQ⁺がLi⁺、Na⁺及びK⁺から選択されるカチオンであり、好ましくはNa⁺及びK⁺から選択されるカチオンで

あり、特に好ましくはNa⁺である1又は2種以上の式(I)のアシルグリシネット、及びR¹が14個の炭素原子を有するアシル基R¹でありそしてQ⁺がLi⁺、Na⁺及びK⁺から選択されるカチオンであり、好ましくはNa⁺及びK⁺から選択されるカチオンであり、特に好ましくはNa⁺である追加的な1又は2種以上の式(I)のアシルグリシネットを、組成物全量をベースとして一緒にして21.0~28.0重量%、好ましくは23.0~27.0重量%の量で含む。